

1回生のみなさんにとっては初めての野外演習。
興味のあるフィールド調査を体験できましたか？



大阪産業大学デザイン工学部

環境理工学科通信

第2号

2017.7.18

定期試験10の心得
先輩が教える夏休みの過ごし方
オープンキャンパスに参加した1回生の感想
インフォメーション

定期試験 10の心得

いよいよはじまる定期試験。初めて挑むことになる試験を前に心構えをお伝えします。

01 監督者の指示に従う

試験場においては、監督者の指示に従いましょう。

02 遅刻厳禁

試験開始後30分以上遅刻すると受験できません。また、40分以上経過しなければ退場することができません。

03 きちんと着席する

試験場では、隣席との間隔をあけて着席しましょう。特に縦の列をそろえて前から順につめて着席しましょう。

04 学生証を提示する

着席したら学生証を通路側の机の上に置きましょう。

05 学生証を忘れたら

本館1階教務課で「試験用臨時学生証」を発行してもらい試験を受けましょう。なお「試験用臨時学生証」の発行には手数料500円が必要です。

06 許可物以外はかばんに

学生証・筆記用具・参照許可物・時計以外のものは、かばん等の中に入れ、監督者が指示する場所へ置きましょう。

07 携帯の電源はOFF

携帯電話等は電源を切り、かばん等の中に入れましょう。時計代りに使用することもできません。

08 学番・氏名を必ず記入

答案用紙と受験したことを証明する「受験者票」には、学籍番号・氏名をペンまたはボールペンで記入しましょう。

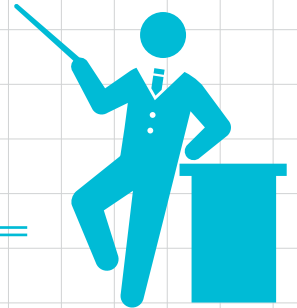
09 持ち出し禁止

配付された答案用紙・その他の用紙類はすべて提出し、試験場外に持ち出すことはできません。

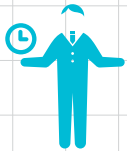
10 不正行為禁止

試験中に不正行為を行った者には退場を命じ、以下の通り処分します。
 ・注意義務を怠った者・・・当該科目の試験が無効となります。(監督者の指示に従わない者、受験態度が悪い者など)
 ・不正行為を行った者・・・当該試験期間中のすべての試験が無効となります。

絶対にカンニングをしないこと!

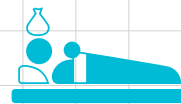


定期試験あるある



試験場と開始時間

いつもの教室でいつもの時間に実施されるとは限りません。



体調が悪くなる

試験期間はおよそ2週間の長丁場。体調管理に気を配ろう。



試験の出題範囲

最終回の講義に出題範囲を教えてください先生もいます。



誘惑に負ける

なぜか部屋の掃除、長編コミックを読みたくなります。



最後まで諦めない

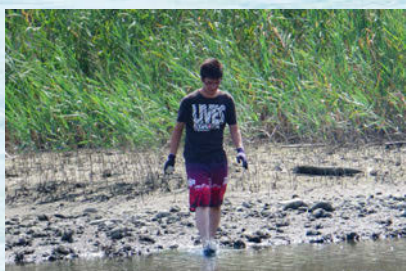
記述問題はとにかく書くべし。

半年間の成果を
充分に発揮しよう!



先輩が教える夏休みの過ごし方

夏休みまであと少し！先輩たちのリアルな夏休みを教えてくれました。



[4回生] 北田さん

みなさんは、夏休みの予定を立てていますか？資格などの勉強に当てる人や、友達と遊ぶ人もいますか？私たちが先輩も3年間大学生として夏休みを過ごしてきました。その先輩が有意義な夏休みを過ごせるようにアドバイスしていこうと思います。何の面白みもありませんが夏休みに利用できる大学の施設を少し紹介していきます。まずは、総合図書館です。クーラーもついているし自習スペースもあるので快適に過ごせます。食堂も土日を除けば昼時には開いているようです。本館の4階と7階の情報処理演習室も開放しているようなので活用できます。その他の開放日時等はポータルを見てもらえると確認できます！



[4回生] 柏木さん

大学の夏休みって結構長くて9月まであるんですよ!!私の場合はアルバイトと赤十字の活動に専念していました!!短期のアルバイトに挑戦しつつ、赤十字奉仕団の夏の合宿や子ども達との交流イベントに参加したり思い出作りを楽しんでいました♪

ちなみに同期は車の免許合宿や留学に行ったりする子もいて本当に色々な過ごし方があります。

寝てゴロゴロするのは本当に勿体ないですよ!!自分にとっての挑戦とか初めてという経験をたくさん積む時間に是非使ってほしいな！と就活生になって思います(笑)



[4回生] 阪上さん

夏休みは、課外活動とバイクに明け暮れていました。課外活動では河川清掃やイベントの参加、水やり、大東市の都市魅力開発会議や寝屋川恩智川流域環境フォーラムの会議への参加など沢山の活動へ取り組んでいました。一方で、バイクでのツーリングも沢山行きました。他にもサーキットの走行会へ参加したり、峠でのオーリング(やっちゃダメよ笑)なんかにも行ったりしていました。

楽しい話ばかりもアレなので、僕は注意喚起でも。バイクばかり乗っていた僕は大学2回生の時に単独で事故をしてしまいました(笑)みなさんも車やバイク、自転車に乗ると思いますが、安全確認を怠らず気をつけて運転しましょう！もちろん歩きも！

オープンキャンパスに参加した1回生に感想を聞きました。



- オープンキャンパスの仕事に実際関わってみて、こんなにも大変なことだとは思いませんでした。高校生との会話はとても緊張したけど、とても有意義に過ごせました。
- 今回、説明してみても、自分も知らないことだらけではじめはとても苦しかったです。しかし、後半慣れてきて、うまくなったと思います。ぜひまた参加したいなと思いました。
- 今回、学科施設の説明を主に行いました。環境理工の魅力はどう伝えるか、どう興味をもってもらおうかを考えながら説明しました。自分がいままで知らなかったこともあり、学科を深く知るいい機会になりました。

インフォメーション

学生生活関連

健康診断の結果について

4月に本学で受診した健康診断の結果について、異常がみられた学生へは5月末に郵送で結果を通知しました。異常がみられない学生についての通知はありません。なお、診断結果はパピルスメイトより発行(200円の手数料が必要)できますのでご利用ください。

学内コンテストに応募しよう

夏休み期間に「ぶんかくコンテスト」と「写真・イラストコンテスト」が開催されます。学内限定で賞金が出るコンテストです。詳しくはPotal-OSU、コンテストページ(<http://osu-co.ntests.osaka-sandai.ac.jp/>)を見てください。

学生リエゾン室を活用しよう

16号館4階学科事務室隣の学生リエゾン室では、eco検定や環境にまつわる資料、SPIやTOEICのテキストなどいろんな資料が自由に閲覧でき、先輩が授業や単位のことはもちろん、部活動やアルバイトや就職活動の体験談など様々な相談に応じてくれます。どんどん活用しよう！

教務関連

前期試験について

前期試験は7月22日(土)～8月4日(金)に実施されます。試験の日時を必ず確認しておきましょう。

前期成績の発表

前期成績発表は9月20日(水)です。ポータルで必ず確認するようにしてください。

Web履修申請の修正期間(後期科目のみ)

Web履修申請修正期間は9月21日(木)～9月23日(土)です。履修申請の修正が必要な学生は、必ず上記の期間中に修正するようにしてください。

後期授業について

9月21日(木)から後期授業開始です。なお、9月23日(土・祝日)は通常授業なので注意してください。

Webでしか読めない特別コンテンツ

定期試験に関するコラムを堀越先生からいただきました。貴重な当
時のお写真も!!特別コンテンツは学科通信アーカイブページ
(<http://www.osaka-sandai.ac.jp/fc/dt/est/communication>)で配信中です。



学科通信を 盛り上げよう

●募集内容

- ・学科通信の愛称
- ・編集に参加したい人
- ・コラムなど記事を投稿したい人
- ・インタビュアー
- ・デザイナー

●対象

環境理工学科の学生

●受け付け・問い合わせ先

daisan.rikoutsushin@gmail.com宛に①名前
②学籍番号③メールアドレスをお送りください。

編集後記

●フィールドプラクティスは学科のなかでも4コマ連続のユニークな科目です。火曜日のほぼ1日をキャンパスの外にでかけるフィールド演習やコンピュータを用いた室内ワークに費やします。天気にも恵まれて楽しいフィールド演習になってますよね。半袖で山に出かけて大変辛い思いをするのも一生モノの経験ですね。ぜひみなさんの感想を聞かせてくだ

さい。●定期試験、、、わたしも学生の時は掃除から始める人でした(笑)今でも締め切りに追われると部屋の整理で気を紛らわしています。学生時代の習慣は一生のクセになってしまうようです。●夏休みの過ごし方、わたしのおすすめはやっぱり海外。大学生はピークをずらして安く、長く行ける最後のチャンスです。きっとプライスレ

スな一生ものの経験ができると思います。

●はじまったばかりの大学生活、そして夏休み。期待と不安が続いているかもしれません。失敗・成功の経験すべてがかけがえない一生の宝になることは誰もが知っています。まずは一歩を踏み出す勇気からはじまるのではないのでしょうか。この夏休み、その一歩を踏み出してみませんか。(高浪)

環境理工学科通信 第2号

発行 大阪産業大学 デザイン工学部 環境理工学科
環境理工学科通信 製作プロジェクト

発行日 2017年7月18日

編集 学生部委員 高浪

デザイン 特定非営利活動法人 環境デザイン・エキスパート・ネットワーク

連絡先 daisan.rikoutsushin@gmail.com

Check

SNSで学科情報を配信しています！



Instagram
daisan_rikou



Facebookページ
大阪産業大学デザイン
工学部環境理工学科

コラム

「わけがわからない」

[教員] 堀越 亮



学部生時代のぼくの話をして。

2年生の金曜日2限に開講されていた「物理化学第2」は、なぞの文字(Ψ、φ、ξなど)が黒板を埋め尽くす「わけがわからない」講義でした。その講義は、再履修者がやたらと多く、毎年4月はおよそ2百名分の座席がほぼ満席でした。当時、1学年の人数がおよそ百名でしたから、その再履修者数の異常さがわかります。その講義を合計3度履修(つまり、再々履修)した後、ぼくはやっとのことで「物理化学第2」の単位を修得しました。1度の履修でその単位を修得する学生は「秀才」と呼ばれ、2度目の履修で修得する学生が「普通」で、ぼくのような3度目の挑戦者も少なくありませんでした。

2年生の履修時、3年生の再履修時とは異なり、4年生の再々履修時には、もう観念し、全ての講義に出席するだけでなく、自宅で少し復習をすることにしました。「省エネ」と「楽しんで稼げ」をモットーとしていたぼくが、講義に全出席するという不名誉と試験前でもないのに自宅で勉強するという屈辱を同時に体験しました。しかし、復習を続けると、「わけがわからない」先生が言っていた「わけがわからない」ことのいくつかが突如繋がりはじめ、「少しわけがわかる」に変化していったのです。ただ黒板の文字をノートに写して、ただ先生の言っていることを聴いているだけでは多くの講義が「わけがわからない」ままであること、「少しわけがわかる」ようになると多くの講義が大変興

味深くなること、これらに気付くのに2年を要しました。そして、大学4年生になってやっと、普段から少し勉強しておく、試験期間をかなりの余裕をもって過ごせることを知りました。

当時も思いましたが、1年生の頃から講義の復習をしっかりするという習慣をつけておけば、4年制大学を卒業するのに5年を要さなかったのではないかと。今も思うのが、4年生のとき講義の復習を始めていなかったら、卒業までにさらに多くの時間を要したのではないかと。「わけがわからない」を「少しわけがわかる」に変化させていなければ、その後の大学院への進学も、さらにその後の研究者としての生活もなかったのではないかと。

今、ぼくは本学で「わけがわからない」講義を担当しています。その講義には、なぞの文字(Ψ:大文字プサイ、φ:小文字ファイ、ξ:小文字グザイ)も登場します。一夜漬けの試験勉強では、付け焼刃に付け焼刃を付けた薄っぺらな知識では、その「わけがわからない」講義の単位修得は恐らく不可能です。1年生の今のうちから、しっかりと勉強する習慣を身につけ、「わけがわからない」講義に対応できるようにしておいてください。

この長く稚拙で「わけがわからない」文章を最後まで読んでくれてありがとう。大学での初めての定期試験、悔いの無いよう、全力を尽くし頑張ってください。

